

令和2年度(2020年度)用

小学校国語科用

「新しい国語」 臨時休業明けの 年間指導計画参考資料 【4年】

令和2年(2020年)7月版

※本資料は、令和2年度用「新しい国語」に基づいて、学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を、一例として示したものです。地域や学校の状況に応じて、適宜ご活用いただければ幸いです。なお、学習内容を年度内に終えることが困難な場合は、次年度に送る等の対応も考えられます。各学校の状況に応じて、適切にご判断ください。また、次年度に送る場合には担当教員間の引き継ぎにご配慮ください。

東京書籍

単元の指導計画案

・太枠…感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動が含まれる単元。

・各単元の評価計画案は、弊社ウェブサイトで公開している「令和2年度 年間指導計画作成資料」をご覧ください。

4年			
単元・教材・配当時数 教科書ページ	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数)	学校での授業時数
<p>もしも、どうしたい</p> <p>2時間(話聞2)</p> <p>教科書: 上巻 P.10～11</p>	<p>●互いの考えに関心を持ち、共通点や相違点に着目しながらやりとりを続けることができる。</p> <p>◇対話をする。A(2)イ</p> <hr/> <p>1 学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。</p> <p>2 話題を選び、想像したことの共通点や相違点を見つけながら対話をする。</p> <p>3 対話をして気づいたことを出し合う。</p> <p>4 よりよい対話のつなぎ方について、学習したことを振り返る。</p>	<p>・〈2の一部〉教科書の対話例を読み、考えたことをどのようにつないでいるのかについて考えてノートにまとめる。(※考えの交流は学校授業)</p> <p>【0.5 時間(話聞 0.5)】</p>	1.5 時間
<p>グループにまとめて整理しよう</p> <p>2時間(書2)</p> <p>教科書: 上巻 P.12～13</p>	<p>●集めた材料を共通な性質に基づいて分類して、整理することができる。</p> <p>◇書き出した情報を分類し、整理する。</p> <hr/> <p>1 教科書の整理した例を見て、学習課題を確かめる。</p> <p>2 一年間でもがんばりたいことを書き出して、見出しを付けて整理する。</p> <p>3 他の話題について思いつくことを書き出して、分類して整理する。</p> <p>4 多くの事柄の整理の仕方について、学習したことを振り返る。</p>	<p>・〈2の一部〉一年間でもがんばりたいことを書き出す。(※整理した結果の交流は学校授業)</p> <p>・〈3の一部〉他の話題について思いつくことを書き出して、整理する。(※整理した結果の交流は学校授業)</p> <p>【1 時間(書 1)】</p>	1 時間

単元・教材・配当時数 教科書ページ	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考え られる教材・学習活動(概要・時数)	学校での授業時数
<p>想像したことを音読で表そう こわれた千の楽器 ・国語のノートの作り方</p> <p>8時間(読6書2) 教科書:上巻 P.16～27</p>	<p>●人物の様子や気持ちの変化に注意しながら想像を広げ、想像したことを音読で表すことができる。 ◇物語を音読する。C(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ 1 単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 それぞれの場面の楽器たちの様子や気持ちを想像する。 3 想像したことを音読で表す。</p> <p>振り返る 4 単元の学習を振り返る。</p>	<p>・〈2の一部〉「こわれた千の楽器」を読み、楽器たちの様子や気持ちを想像して、自分の考えを持つ。(※考えの交流は学校授業)</p> <p>【1時間(読1)】</p>	7時間
<p>図書館へ行こう</p> <p>2時間(知技2) 教科書:上巻 P.28～31</p>	<p>●図書館の本の分類について理解を深めることができる。</p> <hr/> <p>1 単元の学習の見通しを立てる。 2 図書館に行き、ある題材に関係する本をさまざまな棚から探す。</p>	<p>・〈2の一部〉教科書を読み、図書館の本の分類方法について知識を得る。</p> <p>【1時間(知技1)】</p> <p>※図書館で本を探す活動を別時期に行うか、適切な時期に単元の学習時期を移動させることが考えられる。</p>	1時間
<p>漢字辞典の使い方</p> <p>2時間(知技2) 教科書:上巻 P.32～35</p>	<p>●漢字辞典の仕組みと三種類の索引の使い方を知り、漢字の学習に活用することができる。</p> <hr/> <p>1 漢字辞典の仕組みを知り、部首索引を使って漢字を調べる。 2 漢字辞典の総画索引と音訓索引を使って、漢字を調べる。</p>	<p>・〈2の一部〉漢字辞典を活用しながら、教科書の練習題に取り組む。(※解答の確認は学校授業)</p> <p>【0.5時間(知技0.5)】</p>	1.5時間

単元・教材・配当時数 教科書ページ	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数)	学校での授業時数
<p>説明のまとまりを見つけよう ヤドカリとイソギンチャク</p> <p>10時間(読8書2) 教科書:上巻 P.36～45</p>	<p>●段落相互の関係について理解し、文章の構成を捉えることができる。 ◇文章のまとまりを捉え、説明の仕方について考える。C(2)ア</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習を振り返り、単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「ヤドカリとイソギンチャク」を読み、文章構成を捉える。 3 ヤドカリとイソギンチャクの関係を、説明のまとまりに着目しながら読み取り、図や表で表す。 4 筆者の説明の仕方について考える。</p> <p>振り返る</p> <p>5 学習したことを振り返り、学んだことをまとめる。</p>	<p>・〈3の一部〉説明のまとまりごとに読み、読み取った内容を図や表で表す。(※読み取った内容の確認は学校授業)</p> <p>【2時間(読2)】</p>	<p>8時間</p>
<p>たしかめながら話を聞こう ・メモの取り方</p> <p>5時間(話聞5) 教科書:上巻 P.46～51</p>	<p>●聞きたいことの内容を考えて聞き、必要なことをよく知るために質問をして、自分の考えを持つことができる。 ◇話を聞いて質問する。A(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 聞きたいことを整理する。 3 聞きたいことの内容を考え質問を工夫する。 4 メモの取り方や質問の内容を考え、聞く活動をする。</p> <p>振り返る</p> <p>5 単元の目標が達成できたかを振り返る。</p>	<p>・〈2の一部〉教科書を読み、聞きたいことを整理する。(※整理したことをグループで共有するのは学校授業)</p> <p>【0.5時間(話聞0.5)】</p>	<p>4.5時間</p>

単元・教材・配当時数 教科書ページ	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考え られる教材・学習活動(概要・時数)	学校での授業時数
<p>みんなで新聞を作ろう</p> <p>10時間(書10) 教科書:上巻 P.52～57</p>	<p>●知らせたいことが明確に伝わるように記事を書き、見出しや割り付けを考えて、読み手の興味を引く新聞を作ることができる。</p> <p>◇新聞を作る。B(2)ア</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む</p> <p>2 新聞作りの計画を立てる。 3 取材をして、記事を書く。 4 新聞の割り付けをする。 5 新聞を完成させる。</p> <p>振り返る</p> <p>6 単元の学習を振り返る。</p>	<p>・〈3の一部〉取材した情報を基に、新聞記事の下書きを書く。(※グループで下書きを読み合うのは学校授業)</p> <p>【1時間(書1)】</p>	<p>9時間</p>
<p>人物の変化をとらえよう 走れ</p> <p>10時間(読8書2) 教科書:上巻 P.58～73</p>	<p>●中心人物の気持ちの変化とその理由について考えて読むことができる。</p> <p>◇人物の気持ちの変化を考えて読み、考えたことを伝え合う。C(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 場面ごとに出来事を捉え、それぞれの出来事を関連づけ、中心人物の変化を捉える。 3 中心人物が、なぜ、どのように変化したのかを考え、自分の考えを友達と伝え合う。</p> <p>振り返る</p> <p>4 単元の学習を振り返る。</p>	<p>・〈2の一部〉「走れ」を読み、場面ごとの人物の気持ちの変化を読み取ることができる言葉を抜き出してノートに書く。(※登場人物の気持ちを確認するのは学校授業)</p> <p>【1時間(読1)】</p>	<p>9時間</p>

単元・教材・配当時数 教科書ページ	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数)	学校での授業時数
<p>お願いやお礼の手紙を書こう</p> <p>・伝わりやすい文</p> <p>5時間(書5)</p> <p>教科書:上巻 P.74～79</p>	<p>●相手や目的に応じて書く事柄や言葉の使い方を考え、手紙の形式に気をつけて、お願いやお礼の手紙を書くことができる。</p> <p>◇手紙を書く。B(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 教科書の手紙例を読み、目的に合わせた内容と用語を確認する。</p> <p>3 お願いやお礼の手紙の下書きをする。</p> <p>4 身の回りの人などに、お願いやお礼の手紙を書く。</p> <p>振り返る</p> <p>5 単元の学習を振り返る。</p>	<p>・〈3の一部〉お願いやお礼の手紙の下書きをする。(※ほかの児童と互いに下書きを読み合って推敲する活動は学校授業)</p> <p>・〈4の一部〉お願いやお礼の手紙を清書する。(※清書した手紙を互いに読み合う活動は学校授業)</p> <p>【1時間(書1)】</p>	4時間
<p>ことわざと故事成語</p> <p>4時間(書4)</p> <p>教科書:上巻 P.80～83</p>	<p>●ことわざや故事成語について意味や使い方を理解して使うことができる。</p> <p>◇調べたことや教えたことをカードにまとめる。B(2)ア</p> <hr/> <p>1 学習の見通しを立てる。</p> <p>2 ことわざや故事成語について知る。</p> <p>3 ことわざや故事成語を集めて、カードに書く。</p> <p>4 「ことわざ・故事成語ブック」を作る。</p> <p>5 単元の学習を振り返る。</p>	<p>・〈3の一部〉ことわざや故事成語を集めて意味を調べ、カードに書く。(※カードを読み合う活動は学校授業)</p> <p>【1時間(書1)】</p>	3時間
<p>表し方のちがいを考えよう</p> <p>広告を読みくらべよう</p> <p>8時間(読6書2)</p> <p>教科書:上巻 P.84～95</p>	<p>●同じ商品の二つの広告を読み比べて、意図や目的に応じた表現の工夫や効果の違いを読み取ることができる。</p> <p>◇二つの広告を読み比べる。C(2)ア</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでに学習した表現の工夫や効果を考える学習を振り返り、単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 教科書の二つの広告に書かれている言葉や写真を読み取り、表現の違いについて理解する。</p> <p>3 二つの広告の違いから、それぞれの広告の意図や目的、誰に対して作られたものなのかを考える。</p> <p>4 全体のレイアウトから受ける印象や、表現の工夫による違いから、広告の作り方の意図や目的について考える。</p> <p>5 身の回りの広告などの表現の工夫や効果を分析し、考察を書いて互いに読み合う。</p> <p>振り返る</p> <p>6 どのような点に注目して、意図に応じた表し方の違いについて考えたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめて今後の生活や学習に役立てようとする。</p>	<p>・〈5の一部〉身の回りの広告について表現の工夫と作り手の意図や目的を見つけて、ノートにまとめる。(※まとめたものを読み合う活動は学校授業)</p> <p>【1.5時間(書1.5)】</p>	6.5時間

単元・教材・配当時数 教科書ページ	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数)	学校での授業時数
ローマ字の書き方 2時間(知技2) 教科書:上巻 P.96～99	●ローマ字による日本語の音の表し方や二通りの書き方を理解し、ローマ字を読んだり書いたりすることができる。 ----- 1 ローマ字の学習を振り返り、単元の学習課題を捉える。 2 ローマ字の書き表し方を確かめ、学習課題に取り組む。	・〈1の一部〉ローマ字表を確かめながら、教科書の練習題に取り組む。(※解答の確認は学校授業) 【0.5時間(知技0.5)】	1.5時間
本は友達 2時間(知技2) 教科書:上巻 P.100～107	●読書の楽しさを知り、自分の興味に応じた本を選んで読むことができる。 ----- 1 学習のめあてを確かめる。 2 自分の興味や関心に応じて、読みたい本を探して読む。	・〈2の一部〉学習課題に沿って、読みたい本を探し、読書記録をつける。 【1.5時間(読1.5)】	0.5時間
詩を読もう ふしぎ よかったなあ 2時間(読2) 教科書:上巻 P.110～113	●詩に描かれた情景について想像を広げながら、詩を音読することができる。 ◇詩を音読する。C(2)イ ----- 1 情景について想像を広げながら詩を音読するという学習課題を確かめる。 2 詩を音読し、想像したことや気づいたことを発表する。 3 それぞれの詩について想像を広げながら、工夫して詩を音読する。 4 詩を音読することについて、学習したことを振り返る。		2時間
学校についてしようかいすることを考えよう ・生活の中の言葉 6時間(話聞6) 教科書:上巻 P.114～123	●話し合いの目的を理解して、司会者・提案者・参加者などの役割を果たしながら話し合い、結論をまとめることができる。 ◇学級全体で話し合う。A(2)ウ ----- つかむ 1 これまでの学習を振り返り、単元の見通しを立てる。 取り組む 2 議題と目的を確かめ、グループで話し合う。 3 グループの提案をもとに、クラスで話し合う。 4 テーマを変更して、クラス全体で話し合う。 振り返る 5 単元の学習を振り返る。	・〈2, 4の一部〉議題に対して、自分の意見とその理由をノートに書き出す。 【1時間(話聞1)】	5時間

単元・教材・配当時数 教科書ページ	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数)	学校での授業時数
物語の題名の意味を考えよう 一つの花 11時間(読8書3) 教科書:上巻 P.124～137	●物語の題名の意味について、物語の中の叙述と結び付けて具体的に考えることができる。 ◇物語の題名の意味を考えて読み、考えたことを伝え合う。C(2)イ ----- つかむ 1 単元の学習の見通しを立てる。 取り組む 2 場面ごとに人物の様子や気持ちを考えながら読み、家族の関係性や互いへの心情を読み取る。 3 題名の意味について、自分の考えを持つ。 振り返る 4 単元の学習を振り返る。	・〈2の一部〉物語を通読して考えたことや感じたことをノートに書く。(※交流は学校授業) ・〈3の一部〉「一つの花」という題名がどのような意味を持つのかを考えて、ノートに書く。(※交流は学校授業) 【2時間(読1書1)】	9時間
文の組み立てと修飾語 ・ことばあつめ 3時間(知技3) 教科書:上巻 P.138～141	●主語、述語、修飾語それぞれの働きを理解し、文の構成を捉えることができる。 ----- 1 修飾語の役割を理解し、主語、述語、修飾語からできている文の構成を理解する。 2 修飾語が重なる文の語と語の関係を理解し、文の構成を図示したり文を作ったりする。 3 文の構成について理解したことを確かめ、自分の文づくりに生かす。	・〈2の一部〉教科書の練習題に取り組む。(※解答の確認は学校授業) 【0.5時間(知技0.5)】	2.5時間

単元・教材・配当時数 教科書ページ	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考え られる教材・学習活動(概要・時数)	学校での授業時数
<p>山場のある物語を書こう</p> <p>8時間(書8) 教科書:上巻 P.142～147</p>	<p>●始まりの場面と終わりの場面の絵を見て、山場で起こる変化を想像し、構成を工夫して物語を書くことができる。</p> <p>◇物語を書く。B(2)ウ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習を振り返り、単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 3組の絵を見て、考えたことや想像したことを話し合い、自分の物語の絵を選んで設定を考える。</p> <p>3 物語の組み立てを考える。</p> <p>4 「人物カード」や「組み立てメモ」をもとに、物語を書く。</p> <p>振り返る</p> <p>5 書いた物語を互いに読み合い、山場の変化や場面の様子がよく分かるように書いていたところなどを伝え合う。</p>	<p>・〈2の一部〉物語の設定を考え、人物の名前や性格などを「人物カード」にメモする。(※書いたものの交流は学校授業)</p> <p>・〈3の一部〉人物に降りかかる出来事とそれを解決する場面を想像し、「組み立てメモ」に書く。(※書いたものの交流は学校授業)</p> <p>【1.5 時間(書 1.5)】</p>	<p>6.5 時間</p>
<p>くらしの中の「和」と「洋」について調べよう</p> <p>くらしの中の和と洋</p> <p>・目的に合わせて調べよう</p> <p>14時間(読8書6) 教科書:下巻 P.8～23</p>	<p>●何をどのように比べているかを読み取り、比較の仕方を意識して、調べたことをまとめることができる。</p> <p>◇「和」と「洋」について調べ、紹介文にまとめる。C(2)ウ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「くらしの中の和と洋」を読む。</p> <p>3 暮らしの中に、どのような「和」と「洋」があるか考える。</p> <p>4 自分の課題について調べ、紹介文を書く。</p> <p>5 完成した紹介文を読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>振り返る</p> <p>6 「言葉の力」を確かめ、単元の学習を振り返る。</p>	<p>・〈2の一部〉「くらしの中の和と洋」を読んで、考えたことをノートにまとめる。(※ノートにまとめた感想を交流する活動は学校授業)</p> <p>・〈4の一部〉本や資料から集めて整理した情報をもとに、紹介文を書く。</p> <p>【2 時間(読 1 書 1)】</p> <p>※「和」と「洋」の調査は、図書館等の社会施設の利用も想定されるため、適切な時期に単元の学習時期を移動させることが考えられる。</p>	<p>12 時間</p>

単元・教材・配当時数 教科書ページ	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考え られる教材・学習活動(概要・時数)	学校での授業時数
<p>聞いてほしいな、心に残っている出来事</p> <p>6時間(話聞6) 教科書:下巻 P.24～27</p>	<p>●自分が感じたことが聞き手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話すことができる。 ◇心に残っている出来事をクラスで話す。</p> <hr/> <p>つかむ 1 学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む 2 話題を決め、材料を集める。 3 話を組み立てる。 4 話す練習をする。 5 みんなの前で話す。</p> <p>振り返る 6 学習の振り返りをする。</p>	<p>・〈2, 3の一部〉選んだ話題について、そのときの様子と気持ちについて書き出し、話の中心となる事柄を選んで、練習原稿を書く。</p> <p>【1時間(話聞1)】</p>	<p>5時間</p>
<p>つなぐ言葉の働き</p> <p>2時間(知技2) 教科書:下巻 P.28～29</p>	<p>●接続する語句の働きを理解して正しく使うことができる。</p> <hr/> <p>1 接続する語句の働きについて学習課題を確かめる。 2 接続する語句の働きを理解する。 3 練習題を行い、接続語の使い方について理解を深める。 4 接続する語句について、学習したことを振り返る。</p>	<p>・〈3の一部〉教科書の練習題に取り組む。(※解答の確認は学校授業)</p> <p>【0.5時間(知技0.5)】</p>	<p>1.5時間</p>
<p>読んで考えたことを伝え合おう ごんぎつね</p> <p>13時間(読10書3) 教科書:下巻 P.30～53</p>	<p>●中心人物とほかの人物との関わりについて考え、感想を伝え合うことができる。 ◇読んで考えたことを伝え合う。C(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ 1 単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む 2 「ごんぎつね」を読み、ごんと兵十の気持ちを考える。 3 物語を読んだ感想を友達と伝え合う。</p> <p>振り返る 4 単元の学習を振り返る。</p>	<p>・〈2の一部〉「ごんぎつね」を読み、一部の場面について、ごんと兵十の気持ちをノートに書く。(※交流は学校授業)</p> <p>【1.5時間(読1.5)】</p>	<p>11.5時間</p>

単元・教材・配当時数 教科書ページ	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数)	学校での授業時数
<p>「ふるさとの食」を伝えよう</p> <p>・文末の書き方</p> <p>9時間(書9)</p> <p>教科書: 下巻 P.54～61</p>	<p>●自分が考える良さとそれを支える理由や事例との関係を明確にして文章を書くことができる。</p> <p>◇リーフレットを作る。B(2)ア</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 お勧めしたい料理や特産品を決める。</p> <p>3 お勧めするものの良さを伝えるための情報を収集する。</p> <p>4 リーフレットの割り付けを考える。</p> <p>5 リーフレットを作成する。</p> <p>振り返る</p> <p>6 リーフレットを読み合い、単元の学習を振り返る。</p>	<p>・〈4, 5の一部〉リーフレットの割り付けを考えて、作成する。(※作成したリーフレットを読み合う活動は学校授業)</p> <p>【1.5 時間(書 1.5)】</p> <p>※料理や特産品の調査は、図書館等の社会施設の利用も想定されるため、適切な時期に単元の学習時期を移動させることが考えられる。</p>	7.5 時間
<p>じゆく語の意味を考える</p> <p>・ことばあつめ</p> <p>3時間(知技3)</p> <p>教科書: 下巻 P.62～65</p>	<p>●二字熟語の構成について理解し、文や文章の中で使うことができる。</p> <hr/> <p>1 二字熟語を構成する五つの型を理解する。</p> <p>2 さまざまな熟語の構成を確かめる。</p> <p>3 人物の性格や行動を表す語彙を広げる。</p>	<p>・〈2の一部〉教科書の練習題に取り組む。(※解答の確認は学校授業)</p> <p>【0.5 時間(知技 0.5)】</p>	2.5 時間
<p>本をみんなにすすめよう</p> <p>4時間(読4)</p> <p>教科書: 下巻 P.66～69</p>	<p>●本を読んで感じたり考えたりしたその本の魅力や良さを友達に伝えることができる。</p> <p>◇本の魅力や良さを友達に伝える。</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでにどのような本を読んできたかを振り返り、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 本の魅力や良さを伝えるために、本を選ぶ。</p> <p>3 伝える方法について特徴や書く内容を理解し、自分の薦める方法を決める。</p> <p>4 選んだ方法で、薦めたい本の魅力や良さを伝え合う。</p> <p>振り返る</p> <p>5 単元の学習を振り返る。</p>	<p>・〈4の一部〉ポスターやポップ、本の帯を作成する。(※成果物を読み合う活動は学校授業)</p> <p>【1 時間(読 1)】</p>	3 時間

単元・教材・配当時数 教科書ページ	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数)	学校での授業時数
<p>百人一首の世界 ・得意な札を見つけよう</p> <p>3時間(読3) 教科書:下巻 P.72～77</p>	<p>●短歌を音読して言葉の響きやリズムを感じ取ったりかきた遊びをしたりしながら、伝統的な文化を楽しむ。 ◇短歌を音読する。</p> <hr/> <p>1 短歌について慣れ親しむという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。 2 短歌を音読して、短歌について知る。 3 短歌を音読して、好きな歌を選ぶ。 4 グループでかきた遊びを行う。 5 短歌について、学習したことを振り返る。</p>	<p>・〈3の一部〉教科書の短歌の中から好きな一首を選び、その理由も併せてノートに書く。(※選んだ一首を発表する活動は学校授業)</p> <p>【0.5時間(読0.5)】</p>	<p>2.5時間</p>
<p>言葉で考えを伝える</p> <p>6時間(書6) 教科書:下巻 P.78～83</p>	<p>●自分の考えを相手に伝えるために大切なことを確かめ、文章を書くことに生かすことができる。 ◇自分の書いた文章や発表したことを振り返り、よりよい表現を考えて書き直す。</p> <hr/> <p>1 捉え方の違いに気をつけながら、事実と自分の考えを区別する。 2 自分の考えを伝える文の特徴を理解する。 3 自分の考えの理由を伝える文の書き方を理解する。 4 自分の考えと理由を伝える文章の組み立て方を理解する。</p>	<p>・〈4の一部〉自分の考えとその理由を分かりやすく伝える文章を書く。(※交流は学校授業)</p> <p>【1時間(書1)】</p>	<p>5時間</p>
<p>日本語の数え方について 考えよう 数え方を生みだそう</p> <p>11時間(読7書4) 教科書:下巻 P.84～97</p>	<p>●筆者の考えを読み取り、日本語の数え方に対する自分の考えをまとめることができる。 ◇教材文を読み、日本語の数え方について考えたことを書く。C(2)ア</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 本単元の学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「数え方を生みだそう」を読み、筆者がどのように自分の考えを述べているかを確かめる。 3 筆者の述べていることに対して、思ったことや考えたことを話し合うとともに新しい数え方を考える。 4 日本語の数え方についての自分の考えを書く。</p> <p>振り返る</p> <p>5 自分の考えが広がっていった様子を確認めるとともに、学んだことがどのような場面で生かせるかを考える。</p>	<p>・〈3の一部〉新しい数え方とその理由を考え、カードに書く。(※カードを読み合う活動は学校授業)</p> <p>・〈4の一部〉日本語の数え方に対する自分の意見を書く。(※書いた文章を読み合う活動は学校授業)</p> <p>【2時間(読1書1)】</p>	<p>9時間</p>

単元・教材・配当時数 教科書ページ	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考え られる教材・学習活動(概要・時数)	学校での授業時数
<p>調べたことをほうこくしよう</p> <p>9時間(話聞9)</p> <p>教科書:下巻 P.98～105</p>	<p>●アンケートの結果について、分かりやすく伝えるために、話の構成を考え、話し方を工夫して話すことができる。</p> <p>◇調べたことを報告する。A(2)ア</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 グループごとに、生活について調べて報告すること(テーマ)を決める。</p> <p>3 決めたテーマに沿ってアンケートを取る。</p> <p>4 アンケートの結果をまとめる。</p> <p>5 発表の練習をし、報告会を行う。</p> <p>振り返る</p> <p>6 単元の学習を振り返る。</p>	<p>・〈4の一部〉報告する内容に合わせて、資料(図や表など)を作成する。</p> <p>【1時間(話聞1)】</p>	<p>8時間</p>
<p>同じ読み方の漢字</p> <p>・都道府県の漢字</p> <p>・キーボードの入力と漢字</p> <p>3時間(知技3)</p> <p>教科書:下巻 P.106～109</p>	<p>●漢字にはそれぞれ意味があることを理解し、同音・同訓の漢字を正しく使い分けことができる。</p> <hr/> <p>1 同じ読み方の漢字について、正しく使い分けるとい学習課題を確かめる。</p> <p>2 漢字には一字一字意味があることを確かめ、同音異字・同訓異字の使い分けの練習をする。</p> <p>3 いろいろな同音異字・同訓異字を探し、それらを正しく使い分けた文を考える。</p> <p>4 同じ読み方の漢字について、学習したことを振り返る。</p>	<p>・〈3の一部〉教科書の練習題に取り組む。(※解答の確認は学校授業)</p> <p>【0.5時間(知技0.5)】</p>	<p>2.5時間</p>

単元・教材・配当時数 教科書ページ	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数)	学校での授業時数
<p>読んで感じたことを伝え合おう 世界一美しいぼくの村</p> <p>13時間(読10書3) 教科書:下巻 P.110～127</p>	<p>●物語の結末について感じたことを伝え合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。</p> <p>◇物語を読み、結末について考えたことを伝え合う。C(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「世界一美しいぼくの村」を読んで、結末について感じたことや考えたことを伝え合う。</p> <p>3 村や家族に対するヤモの思いを考え、感想を伝え合う。</p> <p>4 「世界一美しいぼくの村」の最後の一文に立ち返り、戦争で破壊されたものについて、改めて考える。</p> <p>5 「世界一美しい村へ帰る」を読み、感想を伝え合う。</p> <p>振り返る</p> <p>6 単元の学習を振り返る。</p>	<p>・〈2の一部〉「世界一美しいぼくの村」を読み、感じたり考えたりしたことをノートにまとめる。(※交流は学校授業)</p> <p>・〈5の一部〉「世界一美しい村へ帰る」を読み、感じたり考えたりしたことをノートにまとめる。(※交流は学校授業)</p> <p>【2時間(読1書1)】</p>	<p>11時間</p>
<p>「言葉のタイムカプセル」を残そう</p> <p>7時間(書7) 教科書:下巻 P.128～131</p>	<p>●1年間に書いた文章を読み返し、自分の成長を振り返るとともに、10年後の自分に伝えたいことを手紙に書くことができる。</p> <p>◇10年後の自分に向けて手紙を書く。B(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返り、単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 1年間で書いた文章を読み返し、自分の文章のよさや自分の成長を確認して、文集にまとめる。</p> <p>3 10年後の自分に手紙を書く。</p> <p>4 「言葉のタイムカプセル」を作り、互いに読み合う。</p> <p>振り返る</p> <p>5 単元の学習を振り返る。</p>	<p>・〈3の一部〉10年後の自分に手紙を書く。</p> <p>【1時間(書1)】</p>	<p>6時間</p>